

1-23 各部の基本納まり図

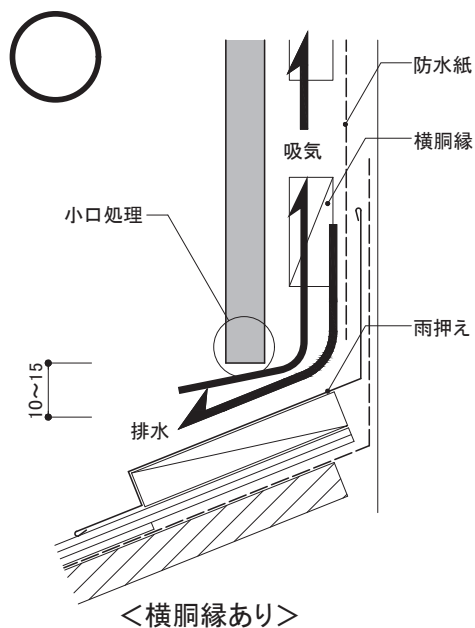
15) 下屋根部

①基本納まり

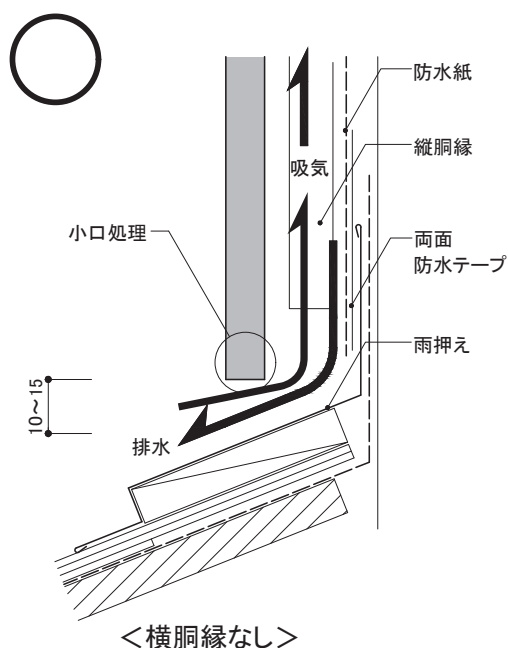
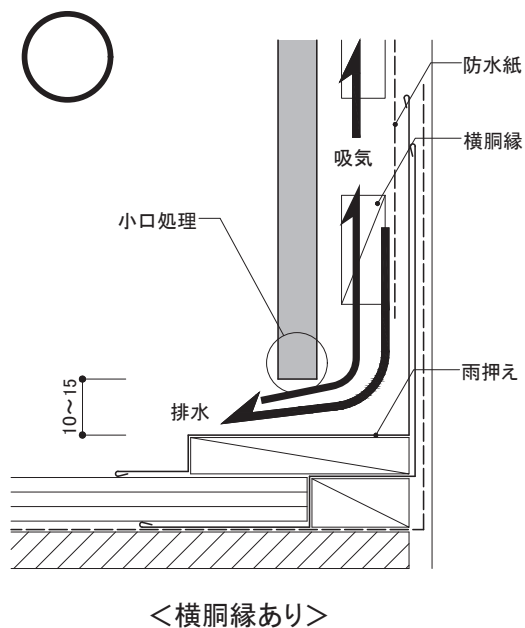
- 下屋根部は外壁通気構法の「吸気」、浸入水などの「排水」を行います。
 - 端あき距離、先孔については、P39をご参照ください。
 - 雨ハネ回避、吸気・排水のため、モエンと雨押えの間には10～15mmの隙間を設けます。
 - 棟側を縦胴縁のみで納める場合は、防水紙と雨押えの間に必ず両面防水テープを施工します。
- 横胴縁で防水紙を押さえる場合は、両面防水テープは必要ありません。

※流れ側は必ず横胴縁を取り付けます。

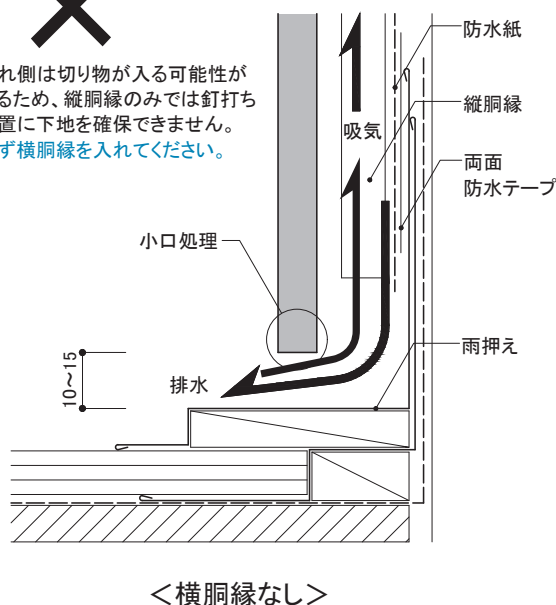
棟側



流れ側



流れ側は切り物が入る可能性があるため、縦胴縁のみでは釘打ち位置に下地を確保できません。
必ず横胴縁を入れてください。



小口処理

あらわしとなる小口面・切断面は、モエンシーラーを十分に塗布し、乾燥後、再度、モエンシーラーを塗布してください。(2回の塗布となります)